

平成31年1月23日



担当課	政策調整課
担当者	松尾・辻本
電話	(073) 435-1013
内線	2460

## 東京2020公認文化オリンピック 「ニッポンたからものプロジェクト」のプログラムが決定！ ～テーマは「うたごころ」 景色と言葉を旅するライブ～

日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」を国内外に発信することを目的とした、東京2020公認文化オリンピック「ニッポンたからものプロジェクト-日本遺産×Live Art-」が1月27日(日)、和歌の浦アート・キューブで開催されます。

当日の進行は歌手のGAKU-MCさんが行い、和歌の浦は和歌の聖地であることを踏まえ、「うた」「ことば」をキーワードに日本の“たからもの”を体感できるものとなっております。胸に込みあげる想いを言葉に紡ぎ伝えたいという気持ちは昔も今も変わりません。新しい切り口で楽しむスペシャル・ライブです！



GAKU-MCさん



和歌祭



山辺赤人歌碑

若の浦に 潮満ち来れば 湯をなみ  
筆辺をさして 鶴鳴き渡る

日時 平成31年1月27日(日) 14:00～15:30 (開場 13:30～)  
場所 和歌の浦アート・キューブ (和歌山市和歌浦南3-10-1)

- プログラム(予定)
- 挨拶 浮島智子 衆議院議員 (文部科学副大臣)
  - トーク「絶景の宝庫 和歌の浦」  
村瀬憲夫 (近畿大学名誉教授) / 吉村旭輝 (和歌山大学特任准教授)
  - 落語 柳亭佐龍
  - 和歌祭より御船歌、母衣
  - 日本舞踊 花ノ本寿 / 箏 平野裕子、岡村慎太郎 / 尺八 安島瑤山
  - ライブ (GAKU-MC)

「旅に出よう、この風に吹かれて」 「昨日のNo, 明日のYes」 など

### 「文化プログラムプレスセンター」も同日開催！

- 文化庁の事業である「文化プログラムプレスセンター」の活動において、和歌浦小学校6年生の児童たちが当日の公演を取材し、自ら新聞記事を作成します。  
⇒完成した新聞は、文化プログラムプレスセンター特設ウェブページへ掲載  
(<http://www.presscentre.net/>)



事前レクチャーを受ける児童たち

※ 文化プログラムプレスセンター  
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、自治体や公的団体などの文化プログラム、地域文化、祭り、文化財、イベントを地元の小中高生中心に取材する活動。